

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。

使用上の注意改訂のお知らせ

No. 26-5

痛風・家族性地中海熱治療剤

コルヒチン錠

コルヒチン錠0.5mg「タカタ」

劇薬、処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

2026年3・4月

製造販売元 **高田製薬株式会社**

このたび、標記製品の「使用上の注意」の項を改訂いたしましたので、ご案内申し上げます。

今後の本剤のご使用に際しましては、以下の内容にご留意下さいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容（波線は改訂箇所）

改訂後			改訂前		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
肝代謝酵素CYP3A4を強く阻害する薬剤（肝臓又は腎臓に障害のある患者に使用する場合）[2.2、9.2.1、9.3.1 参照] アタザナビル（レイアタツツ） クラリスロマイシン含有製剤（クラリス、クラリシッド、ボノサップ、ラベキユア） イトラコナゾール（イトリゾール） リトナビルを含有する製剤（ノービア、カレトラ、パキロビッド） ダルナビルを含有する製剤（ブリジスタ、プレジコビックス） コピシスタットを含有する製剤（スタリビルド、ゲンボイヤ、プレジコビックス） エンシトレルビル（ゾコーバ） ロナファルニブ（ゾキンヴィ） <u>セリチニブ（ジカディア）等</u>	本剤の作用が増強することがあるので、併用しないこと。	肝代謝酵素CYP3A4を阻害することにより本剤の血中濃度を上昇させることがある。	肝代謝酵素CYP3A4を強く阻害する薬剤（肝臓又は腎臓に障害のある患者に使用する場合）[2.2、9.2.1、9.3.1 参照] アタザナビル（レイアタツツ） クラリスロマイシン含有製剤（クラリス、クラリシッド、ボノサップ、ラベキユア） イトラコナゾール（イトリゾール） リトナビルを含有する製剤（ノービア、カレトラ、パキロビッド） ダルナビルを含有する製剤（ブリジスタ、プレジコビックス） コピシスタットを含有する製剤（スタリビルド、ゲンボイヤ、プレジコビックス） エンシトレルビル（ゾコーバ） ロナファルニブ（ゾキンヴィ）等	本剤の作用が増強することがあるので、併用しないこと。	肝代謝酵素CYP3A4を阻害することにより本剤の血中濃度を上昇させることがある。
省略	省略	省略	省略	省略	省略

改訂後			改訂前		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
肝代謝酵素CYP3A4を阻害する薬剤等（肝臓又は腎臓に障害のある患者を除く） 強く阻害する薬剤 アタザナビル、クラリスロマイシン含有製剤、イトラコナゾール、リトナビルを含有する製剤、ダルナビルを含有する製剤、コピシスタットを含有する製剤、エンシトレルビル、ロナファルニブ、 <u>セリチニブ</u> 等 以下、省略	本剤の作用が増強することがある。併用する場合は減量あるいは低用量から開始するなど注意すること。	肝代謝酵素CYP3A4を阻害することにより本剤の血中濃度を上昇させることがある。	肝代謝酵素CYP3A4を阻害する薬剤等（肝臓又は腎臓に障害のある患者を除く） 強く阻害する薬剤 アタザナビル、クラリスロマイシン含有製剤、イトラコナゾール、リトナビルを含有する製剤、ダルナビルを含有する製剤、コピシスタットを含有する製剤、エンシトレルビル、ロナファルニブ等 以下、省略	本剤の作用が増強することがある。併用する場合は減量あるいは低用量から開始するなど注意すること。	肝代謝酵素CYP3A4を阻害することにより本剤の血中濃度を上昇させることがある。
省略	省略	省略	省略	省略	省略

2. 改訂理由

厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知（令和8年3月17日付）による改訂

●「10. 相互作用 10.1 併用禁忌」の項に「セリチニブ」を追記

自主改訂

●「10. 相互作用 10.2 併用注意」の項に「セリチニブ」を追記

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構において、セリチニブとCYP3A基質薬剤の併用時における薬物動態学的な影響を評価し専門委員の意見も聴取した結果、セリチニブの強いCYP3A阻害作用によりCYP3A基質薬剤の曝露量が増加し、副作用の発現が増強するおそれがあることから、本剤において使用上の注意を改訂することが適切と判断されました。

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の医薬品安全対策情報（DSU）No. 344に掲載される予定です。

改訂後の電子化された添付文書（電子添文）全文につきましては、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）並びに弊社ホームページ（<https://www.takata-seiyaku.co.jp/>）でご参照いただけます。

また専用アプリ「添文ナビ[®]」よりGS1バーコードを読み取る事でも、最新の電子添文等をご参照いただけます。

<GS1コード>

コルヒチン錠「タカタ」



(01)14987120394406

<お問い合わせ先> 高田製薬株式会社 <すり相談室 電話：0120-989-813